

令和3年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年	第3学年	学科 種類	普通科理系
単位数	2単位	教科書	現代文B（教育出版）				
副教材	現代文B学習課題ノート（教育出版） 大学入試に出た核心漢字2500+語彙1000（尚文出版）						

学習目標	近代以降（明治時代以降）の様々な文章（評論・小説・詩歌）を的確に理解し、ものの見方、感じ方、考え方を深めます。また、読み取るだけでなく、書く・話す・聞くことを通して、言葉による表現力も高めていきます。
------	--

キャリア教育の視点	様々な文章を読むことによって、常識的なものの見方や考え方を相対化し、新たな認識を獲得することができます。いろいろな発想やものの見方を学び、客観的に自分自身を見つめる視点を身に付けることによって、日常の中で経験する様々な困難に適切な対応を取ることのできる精神的な柔軟さを養い、自分自身のより良い生き方につなげます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考査
1 学 期	4月	評論一	現実を「表象」という人間の営為について理解を深め、人間の世界の認識の仕方について考察します。	中間考査
	5月	小説二		
	6月	評論三	極限状態に置かれた人間の心理を通して、戦争と人間との関係について考えを深めます。	期末考査
	7月	評論三	深層心理学の観点から、意識と無意識の関係や、幻想世界と現実との関わりについて学びます。	
2 学 期	8月	評論三	心の在り方（価値観や考え方）に影響する社会の構成や、他者の視点について考えます。 敗戦後、世界の中に置かれた日本の状況を理解し、戦後社会への認識を深めます。 人間としての生き方、恋愛の在り方などについて考えを深めます。 現代技術の進歩とそれが投げかけている倫理の問題から、私たちに課せられた課題を考えます。	中間考査 期末考査
	9月	小説二		
	10月	小説三		
	11月	評論四		
	12月			
3 学 期	1月	詩	日本近代詩の特徴であるリズムや形式、比喩などについて学びます。	
	2月			
	3月			

学習方法	週2時間の授業では、読解に必要な語彙力を高めながら、学習課題ノートや授業者が作成したプリント等を中心とした学習をします。自分で考えたり、グループで話し合ったりする中で、教科書本文の述べられた事柄から自分自身を振り返りながら学習を進めていきます。また、考えたり話し合ったりしたことを、文章にまとめたり発表したりして、グループ内やクラス内で相互評価します。
------	--

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は次の3点で評価します。 1 授業への参加状況と活動意欲 2 学習課題ノートやプリント等の活用状況 3 作文や発表の内容及び相互評価への取組状況
-------	--

備考	
----	--